

訂正 (Erratum)

原 著

24時間絶食下, 非絶食下ラットにおけるグレリン末梢投与による
摂餌量増加と食欲関連中枢神経活性化の相違について

和田 友則^{1,2)*}, 堀 裕太郎¹⁾, 山口 菜緒美^{1,3)}, 細見 英里子¹⁾, 勝田 奈穂子¹⁾,
魯 昭輝¹⁾, 前沢 皓亮¹⁾, 高山 清茂¹⁾, 名越 澄子¹⁾, 屋嘉比 康治^{1,3)}

- 1) 埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科
- 2) 公益社団法人東京都教職員互助会 三楽病院 消化器内科
- 3) 埼玉医科大学かわごえクリニック 消化器内科

掲載: J Saitama Medical University 2024; 50(2): 45-55.

本誌第50巻2号掲載された原著論文本文中および figure legend に誤りがありました。
下記のとおり訂正いたします (下線部分が追加・訂正部分)。

1. P46 方法 1) 実験動物

(誤) 本実験については埼玉医科大学動物実験委員会の承認を得て行った
(承認番号 1495 号, 1503 号, 1750 号, 1756 号)

(正) 本実験については埼玉医科大学動物実験委員会の承認を得て行った
(承認番号 1495 号, 1503 号, 1750 号, 1756 号, 3623 号, 3624 号, 3363 号, 3364 号)」

2. P50 結果 3) のサブタイトル

(誤) 3) グレリン投与による血中グルコース, インスリン, レプチン値の変化」

(正) 3) 血中グルコース, インスリン, レプチン値の変化」

3. P50 図4の Figure Legend の記載の中で

(誤) 「VTA (ventral tegmental area : 腹側被蓋野), B. NAc (nucleus accumbens : 側坐核)」

(正) 「A. VTA (ventral tegmental area : 腹側被蓋野), B. NAc (nucleus accumbens : 側坐核)」